

第6回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日時 平成28年6月8日(水) 13:30~14:20

2 場所 本庁舎南側2階 21会議室

3 出席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

青山委員、秋山委員、岩佐委員、上木委員、川島委員、竹谷委員、伴辺委員、
中條委員、西川委員、丸山委員、吉川委員、渡辺委員

(2) 事務局(市)

望月産業振興室長、桜田企業立地推進室長

商業振興課：河本課長、由利主査、銅主査、五十嵐主事

工業労政課：加賀谷課長、田嶋主査、能代主査、廣川主事、佐藤(幹)主事、
佐藤(尚)主事

4 会議内容

(1) 開会

(2) 議事

①各部会等の報告について

▽委員(創業促進部会)

○4月20日に部会を開催、6月1日に勉強会を開催。

○平成27年度に実施している創業促進支援施策について確認

・これまで商工会議所で実施していた新規創業セミナーを平成27年度から
市と連携して、回数及び講義内容を拡充した。さらに、セミナー受講者が
創業した場合の補助金により、創業者の支援を強化した。

・平成27年度3回のセミナーを実施し、延べ87名の参加があった。その
うち、48人に修了証を交付。うち10人が創業し補助金を交付。

○今後の創業促進支援施策について議論。

・平成28年度の新規創業セミナーは5月、6月、7月の3回実施予定。

・市の補助金は30万円上限で15人の枠を計上。

・中心市街地の空き店舗活用事業やチャレンジショップ事業を創業支援事業
と連携させてみてはどうか。

・新規創業者を集めて、同じ地区で開業の支援をしてはどうか。

・U・Iターンで帰ってきての創業支援ということはどうか。

・町別業種別リストを作成し創業者等にデータ提供支援をしてはどうか。

・ターゲットを絞った創業支援はどうか。

○振興計画に関する議論

・既存の創業促進支援施策を洗い出し、支援事業を強化することが必要。

▽委員(人材育成・事業承継部会)

○4月20日に部会を開催。

○苫小牧市離職防止等処遇改善事業について、工業労政課及び関係企業より報
告があった。

・参加事業42社に対して、処遇改善企業数が22社あった。

・職場定着を考えると、採用した者と業務のミスマッチが多い。

- ・人材育成は投資という観点から、積極的に行うべきである。
 - ・企業方針・経営方針を統一している企業は定着率が良い。
 - ・単発の研修等は、あまり結果に結びつかないため、継続することが重要。
 - ・企業として人材育成をどう取り組んでいくかが重要
- 平成27年度の人材育成・事業承継に係る事業について
- ・離職防止等処遇改善事業
 - ・人材確保支援事業
 - ・若者人材育成事業
 - ・中小企業人材育成補助金
 - ・職業訓練センター補助金
 - ・新卒高校生等雇用奨励金
 - ・雇用創出奨励交付金
 - ・就業チャレンジ支援事業
- 振興計画に係る具体的施策の検討
- ・振興計画をどう組み立てていくかを議論。
 - ・実態調査結果を踏まえながら、さらに具体的な施策を打ち出していく。
 - ・インターンシップが、企業における人材育成にどう結びつくかを実態調査結果を踏まえながら、再度検討し、振興計画の中に盛り込んで行きたい。
 - ・社会性の部分は教育機関との連携も考えていくべき。
 - ・人材育成に伴う補助金は、経営者の人材育成、後継者の育成確保がポイントと考える。
 - ・従業員のスキルアップ支援も取り上げて行きたい。
 - ・職業能力の向上及び中小企業の人材確保をどう支援していくか。

▽委員（販路拡大・需要開拓部会）

- 4月20日に部会を開催、5月30日に勉強会を開催。
- 補助金利用に関するアンケートについて
- ・現行の補助金で不足していることや利用されていない原因を探ることを目的に、苫小牧市、道央産業振興財団、商工会議所の各組織が行っている補助金についてアンケートを実施した。
 - ・5月30日の勉強会では、アンケート結果について議論。
 - ・18社を調査し13社の回答。
 - ・補助金の認知度は、13社のうち10社。知っている、又は、使ってみたいという企業は、13社のうち8社。意外と認知されているということがわかった。
 - ・以前の販路拡大アンケート結果は、売っていくための支援策のニーズが一番多かったが、今回は、製品開発・技術開発のニーズが多かった。また、市場拡大支援事業が少なかった。
 - ・資金にノウハウを併せた支援などに踏み込むことが、補助金の裾が広がることにつながる。
- 販路拡大セミナー（案）の実施について
- ・販路拡大セミナーを今年度、又は来年度に実施したらどうか。
 - ・日本貿易振興機構が無料で海外販路拡大セミナーを実施している。
- ⇒集客を考えると難しいので再考。

○補助金等の周知について

- ・ 中小企業の冊子やミラサポ等は、あまり機能していないかもしれない。
- ・ 必要な人に補助金等が利用されていない可能性がある。
- ・ 補助金の周知について、振興計画案の具体的施策に入れた方が良い。
- ・ 室蘭の市商連では、補助金の申請書を書く市のOB等が常駐している。
- ・ 札幌のよろず拠点は、苫小牧の人も使っている。
- ・ 苫小牧商工会議所は、会員以外の方でも相談することができる。

◇各委員からの意見等

▽委員

- ・ 補助金の周知の一つの方法として、新聞や広報等の広告媒体で募集をかけて市役所のメルマガシステムに登録し、情報を市役所から一斉発信する方法もあるではないか。

▲事務局

- ・ 商業振興に関するの情報について、関係者、または希望者に、毎月定期的にメルマガジンを送っている。
- ・ さらに広く情報を伝えるため、登録の方法について、もう少し検討する必要があると感じた。

▽委員

- ・ メルマガの登録人数はどれくらいか。

▲事務局

- ・ 40前後。

▽委員

- ・ 室蘭の市商連に商店街サポートセンターを立ち上げ、各商店街を回り補助金申請の代行や情報発信など、商店街づくりのサポートをしている。
- ・ 苫小牧市でもそういったサポートをしてあげれば良いのではないか。

②苫小牧市中小企業実態調査について（報告）

▲事務局より説明

- ・ 平成28年度苫小牧市中小企業実態調査について、市内中小企業2500事業所を対象とした調査を4月1日付けで実施し、現在575事業所の回答があり、回答率24.0%となっている。
- ・ 今後各部会等から意見や精査、分析等を進めて、完成していく。

③苫小牧市中小企業振興計画（仮）に向けて

▲事務局

- ・ 条例に謳う5つの基本方針の基、3部会のテーマを柱にした重点施策を定める。
- ・ 中小企業の現状と課題等は、今後各部会で確認していき、課題解決のための重点施策についても、併せて議論を進めていただきたい。

(4) 閉会

※審議会終了後、創業促進部会、人材育成・事業承継部会、販路拡大部会がそれぞれ開催され、14時30分～15時45分頃まで行われた。